

別添 1

暮らし・にぎわい再生事業計画
小田原駅周辺地区

平成27年2月2日

小田原市

1. 再生事業計画区域

①計画区域の位置

神奈川県小田原市栄町一丁目の一部

②計画区域の面積

約 1.2ha

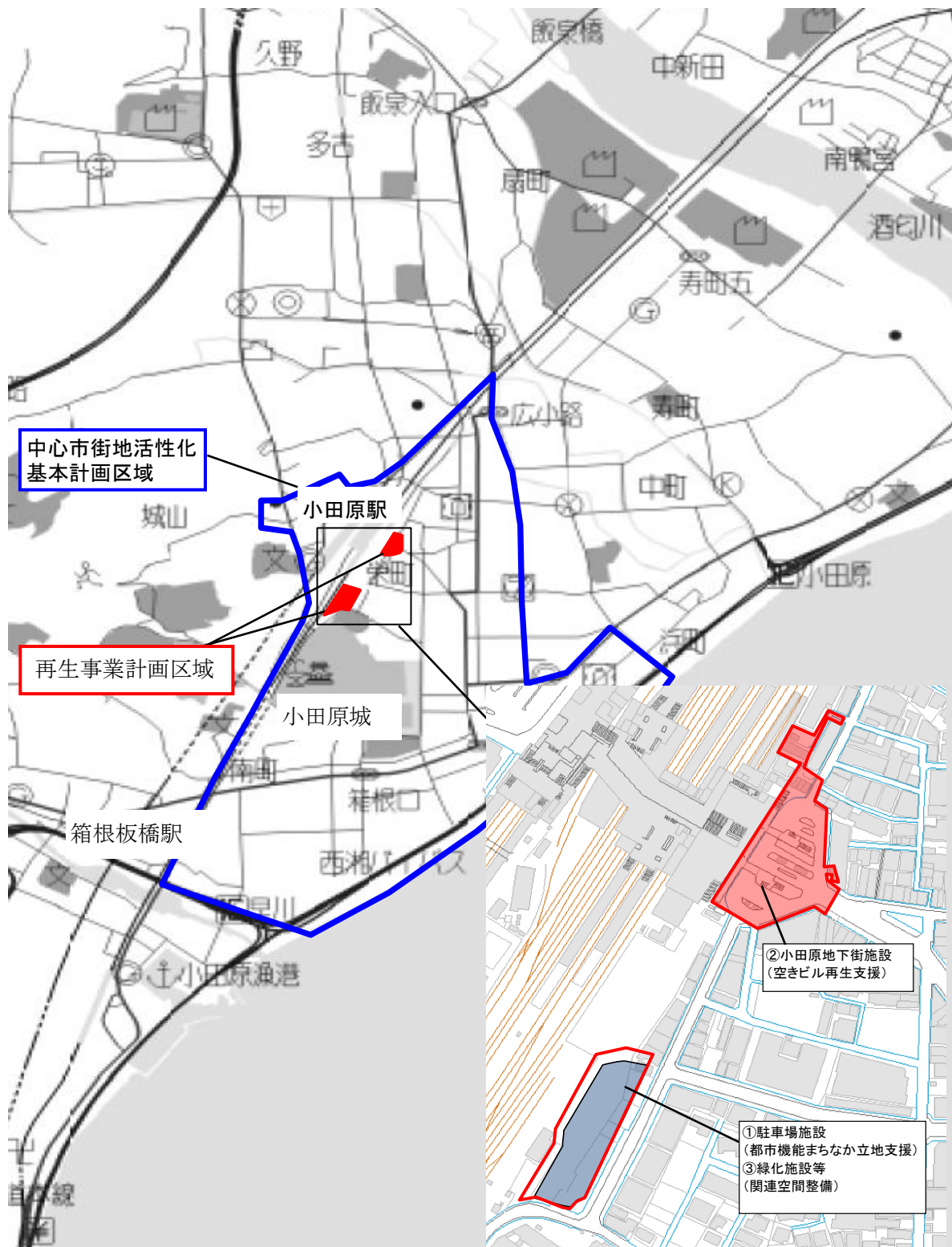
③区域設定の考え方

本地区は小田原市の中心市街地活性化基本計画区域の小田原駅周辺部に位置し、基本計画の区域の中でも、富士・箱根・伊豆地域における広域交流の玄関口である広域交流コアの一角にあり、中心市街地はもとより、神奈川県西部地域の住民にとっても重要な生活拠点地区の一部として栄えてきた。

しかし、近年、景気低迷により商業機能の低下がみられ、かつてのにぎわいとともに関点としての意義も失われつつある。

そこで、本地区では暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援及び空きビル再生支援により、現東口臨時駐車場のお城側に立体駐車場施設（一部商業・業務、公共・公益施設）を整備し、質の高い公共的空間を確保しながら、小田原の顔づくりとして相応しい土地利用を図る。更に、平成19年6月から閉鎖している小田原地下街を、小田原駅に接する利便性を活かした「交流と創造の場」として、単なる商業施設ではなく、地域振興など新しい価値を備えた公共空間として再生させ、中心市街地のにぎわいと交流を創出するため、計画区域を設定した。

【位置図】



2. 総事業費

4, 250百万円

3. 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

1) 再生事業計画区域が抱える課題	<ul style="list-style-type: none">・ 景気低迷や夜間人口の減少、郊外への大型店出店等による商店数や来街客数の漸減・ 観光客など交流人口に視点を置いた集客力の向上
2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設	<p>【整備する予定の都市機能導入施設】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 駐車場施設 駐車場、地域交流施設（市民活動支援施設、会議室）・ 小田原地下街施設 商業施設、地域交流施設（タウンカウンター、屋内イベント広場）
3) 都市機能導入施設整備の効果	<p>中心市街地における各効果</p> <ul style="list-style-type: none">・ 関係観光施設の年間入場者数の増加・・・97, 578人／年・ 小田原駅周辺商店街の流動客数の増加・・・12, 825人／年・ 小田原駅の乗車人員数の増加・・・・・・・・772人／日

4. 都市機能導入施設及び公開空地等の整備計画の概要（全体概要）

【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公益施設の種類の種類	事業期間
①	駐車場施設	コア事業	都市機能まちなか立地支援	地域交流施設	H25-H27
②	小田原地下街施設	コア事業	空きビル再生支援	地域交流施設	H23-H26
③	緑化施設等	附帯事業	関連空間整備	—	H26

【事業スケジュール】

番号	H23	H24	H25	H26	H27
①			計画・設計	工事	
②	計画・設計			工事	
③				工事	

5. 整備計画に従って行われる主要な事業の概要（個別）

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	駐車場施設	事業期間	H25～H26
補助種別			コア事業	補助区分	都市機能まちなか立地支援
階数			地上5階	構造	耐火構造
敷地面積(m ²)			3,547 m ²	延床面積(m ²)	12,255 m ²
施設用途(都市機能導入施設の概要)					
地域交流施設、商業施設、駐車場					

番号	②	施設名	小田原地下街施設	事業期間	H23～H26
補助種別			コア事業	補助区分	空きビル再生支援
階数			地上3階地下2階	構造	耐火構造
敷地面積(m ²)			6,531 m ²	延床面積(m ²)	7,983 m ²
施設用途(都市機能導入施設の概要)					
地域交流施設、商業施設					

番号	③	施設名	緑化施設等	事業期間	H26
補助種別			附帯事業	補助区分	関連空間整備
階数			—	構造	—
敷地面積(m ²)			—	延床面積(m ²)	—
施設用途(都市機能導入施設の概要)					
緑化施設等					

6. 提出参考資料

- ・ 区域詳細図・・・別添1

【区域詳細図】

